

～福島高校生と行く串間の未来へバトンをつなぐ青島の旅～ 青島アドベンチャーツアー!



福島高校の地域創生クラスの2年生7人(当時)は3月4日、JR日南線を活用した小中学生とのふれあいイベントを行いました。

このイベントは、同線の利用促進を図ることや同校の魅力を知ってもらうため、昨年10月に同クラスが地域活性化策を研究する地域創生学の授業の一環で行ったイベント企画の発表会で、最優秀賞に輝いた企画を本市の補助金を活用して実施。

当日は、市内の小学4年生から中学1年生の18人が参加し、ツアーを満喫していました。

串間駅で自己紹介



今日はよろしく
お願いします♪



景色がきれいで
楽しい☆

記念写真を入れる フォトフレームづくり



こうしたら
どうかな?



JR日南線に乗り青島駅に出発!



青島散策



大吉きて
ほしいな



帰りはバスで福島高校の紹介や
イントロクイズなどのゲームを
して楽しく帰宅

コメント

福島小学校4年生(当時)
(左) 河野 ひまりさん
(右) 堀口 芹愛さん



列車から見た海がすごくきれいでした。お兄ちゃん、
お姉ちゃんが優しく接してくれてとても楽しかったです。
いい思い出になりました。

くしぴ! KUSHIMA ＝くしまトピックス＝ TOPICS

12 日々の成果を展示・発表

市内で生涯学習活動を行っている自主サークルや、各公民館が主催する各種講座の参加者が日々の成果を展示・発表する「生涯学習成果作品展・発表会」が3年ぶりに市文化会館で行われました。小ホールでは書道や手芸などの作品展示、ホワイエでは歌やダンスなどを9団体が発表。参加者や来場者は目や心で作品や発表に触れていました。発表後は、展示をした団体の作品が当たる成果作品抽選会が行われ、当選番号を読み上げるたびに会場内はにぎわいました。



多数の作品で会場内は彩られました

15 花きの美しさを求めて出品・展示



同会で使用された花きはフラワーアレンジメントとなり、2月16日から1週間ほど南那珂内の道の駅や港の駅で展示されました

南那珂地区花き振興会による「花き展示品評会」が日南市のJAはまゆう新選果場にて行われました。色とりどりのスイートピーやダリア、トルコギキョウなどが多数並べられ、審査員は花の色や大きさ・茎の強弱などを入念に審査しました。この品評会で本市からは、「串間市長賞」にスイートピーのサーモンという品種で田中和胤さん、^{かすのり}「宮崎県経済農業協同組合連合会長賞」にトルコギキョウのセレバニラという品種で平川俊一郎さんが選定されました。審査員長の南那珂地区花き振興会会長の歌津芳秋さんは「品評会を行うことによってレベルを上げていける。消費者のニーズに合うような商品を作ってほしいので今後も期待している」と話していました。

17 大束小児童が福祉体験

大束小学校で、車いすの介助、乗車やアイマスクなどを使い目、耳、手の不自由さを体験する福祉学習が行われました。体の不自由な人の気持ちを理解し思いやりの心を育んでもらおうと2年ぶりに実施。学習には6年生19人(当時)が参加し、介護老人保健施設「長寿の里」の職員が講師を務めました。車いすの介助体験では、職員から「動かす際は必ず声かけや安全確認を行うこと」などの説明を受けた後、児童は優しく声かけをしながら前輪を上げて段差を越える介助を行いました。参加した木村玲愛さんは「体が不自由なのはとても大変だと感じたので、困っている人がいたら自分から人助けをしていきたい」と話していました。



児童は乗る人と介助する人を交代しながら体験していました